



2021.10.29

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) のゴール達成につながる取組みが評価され、「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」に選定されている豊島区。2021年10月2日には、SDGsの活動推進を掲げたモニュメント「SDGsシンボル」の設置を記念して、除幕式が行われました。

高野区長はこの式の挨拶で、2014年の「消滅可能性都市」の指摘から豊島区の街が大きな発展を遂げてきたことを振り返り、「来年の区政90周年へ向けて、目指す都市像『国際アート・カルチャー都市』と誰一人取り残さない『SDGs未来都市』の実現に地域一丸となって取り組んでいきたい」と語りました。

「SDGsシンボル」が設置されたのは、JR「池袋駅」東口にあるグリーン大通り五差路2カ所（北側、南側）。高さ2.3mで三角柱のかたちをしており、各板面に「としまSDGs都市宣言」「国際アート・カルチャー都市」「セーフコミュニティ国際認証都市」について掲載されています。シンボルの足元にあるSDGsのロゴマークを模したモザイクアートは、障がいのある方への就労支援の一環として、区内の福祉作業所で一つひとつ製作されたもの。除幕式には地元の町会・商店街・関係企業の方々、モザイクアートの製作に携わった障害者就労支援施設の方々などにご出席いただき、皆で「SDGsシンボル」の誕生を祝いました。

—— 関連するSDGs ——



SDGs未来都市 豊島区



豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



2021.10.29

豊島区では、毎年11月1日を「としま文化の日」とし、豊島区の文化や、文化によるまちづくりを次世代に継承していくための記念事業を行っています。

今年は、11月1日から8日までの期間を中心に、「SDGs×文化」をテーマに、子どもたちと一緒に豊島区の未来を描く取り組みを行います。幅広いジャンルの記念事業によって、子どもも大人も楽しみながら文化に触れ、その大切さを肌で学ぶことができます。

関連事業も含めると、およそ100の取り組みが行われます。
ぜひ、以下から気になるイベントをクリックしてみてください。

【主なイベント】

[IKEBUKURO LIVING LOOP](#)

[江戸川乱歩とミステリー](#)

[池袋ハロウィンコスプレフェス2021](#)

[アニメイトガールズフェス2021](#)

[トキワ荘のまち4コママンガ大賞](#)

[吉本芸人×IKEBUSおもしろアトカルツアー](#)

[energy～笑う筋肉～](#)

[トキワ荘のアオハル](#)

[東京グランド花月](#)

[Warai Mirai Fes ～Road to EXPO 2025 ～](#)

[よしもと×SDGs MAGAZINE 公開番組収録イベント](#)

[笑う東大、学ぶ吉本プロジェクト 教×興×響「きょう」から始めるSDGs祭](#)

※上記以外のイベントについては、以下「令和3年度『としま文化の日』特設ページ」をご参照ください

<https://www.city.toshima.lg.jp/ike-circle/culture/event/2021cultureday.html>

—— 関連するSDGs ——



SDGs未来都市 豊島区



豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



今年も開催！
ファーマーズマーケット@IKE・SUNPARK

2022.01.12

昨年10月に再開した大好評のイベント「ファーマーズマーケット」が今年も開催されます。
としまどりの防災公園（イケ・サンパーク）園内で開催されるこのファーマーズマーケットでは、産地直送の農産物や区内の名産品、さらに豊島区と交流のある約90の交流都市等から、その地方を代表する野菜や名産品が集まります。

旬の野菜や果物を、農家さんから直接購入できる点も大きな魅力。
昨年も多くの人が訪れ、お買い物だけでなく、農家の方との会話も楽しむ姿が見られました。



公園内には池袋のまちを周遊するIKEBUSの停留所もあり、気軽に足を運ぶことができます。
2022年は1月15日（土）・16日（日）から毎週末の開催を予定。
この機会にぜひファーマーズマーケットを訪れ、生産者の想いがこもった商品に触れ、ここでしかできない買い物体験をお楽しみください。

※週によっては開催しない場合もあります。詳細はファーマーズマーケットHP (<https://www.farmers-ikesun.jp/>) をご覧ください。

=ファーマーズマーケットとSDGs=
この取り組みは、豊島区が進める自治体SDGsモデル事業「池袋駅周辺4公園を核にしたまちづくり」の一環としてスタートしました。



マーケット開催による公園周辺も含めたまちの経済活性化や、区民・来街者の日常の暮らしに彩りを加える場づくり、電気バスIKEBUSによる来場推奨など、SDGs（経済・社会・環境）の好循環を生み出し、さまざまな面で持続可能なまちづくりに貢献しています。マーケット内には、豊島区のSDGs推進を発信するブースも設置しています。

- ・IKE・SUNPARK（イケ・サンパーク） <https://www.farmers-ikesun.jp/>
- ・IKEBUS <https://travel.willer.co.jp/ikebus/>

—— 関連するSDGs ——



「SDGs未来都市」対談企画
岩手県岩手町佐々木町長×高野区長



2022.02.03

「SDGs未来都市」として、ともにSDGsに取り組む「岩手県岩手郡岩手町」。
岩手町は本区と同じく、「文化」を軸に持続発展するまちづくりに取り組んでいる自治体でもあります。

昨年10月、岩手町の佐々木光司町長が本区を訪問され、高野区長と対談を行いました。

この模様は、岩手町SDGs特設サイト内の『佐々木町長が行く!』コーナーに掲載されていますので、ぜひご覧ください!

<https://iwatetown-sdgs.jp/>

岩手町との連携が始まったのは、昨年8月の東京・丸の内における「岩手町×丸の内SDGs Tour」。

岩手町の取組を紹介する本イベントにて、本区にもお声がけいただき、連携して互いの取組を発信しました。

これからもSDGsそして文化という共通言語を通じて、互いに手を取り合いながら、持続発展するまちづくりに挑戦していきます。



—— 関連するSDGs ——



SDGs未来都市 豊島区



豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



2022.02.15

記者会見レポート…
池袋駅の東西をつなぐ改革
建築家・隈研吾氏が監修する
ウォーカブルなまちづくり

「駅袋」からの脱却——。

巨大ターミナル駅として知られる一方で「駅から街に人が出ない」という課題を抱える池袋駅。
この長年の課題解決に向けて、一大プロジェクトが本格的にスタートします。

タッグを組むのは、豊島区庁舎建て替えをはじめとし、2011年から都市政策顧問として、豊島のまちを一緒に作りあげてきた建築家・隈研吾氏。
駅東西、それぞれ特色あるまちの文化をつなげ「多様性」「複合性」ある池袋の魅力をそのまま活かしたまちづくりを進めます。

池袋駅西口地区には、人を駅からまちへ誘う「サンクンガーデン」を設置するほか、まちの東西を快適に結ぶ地上デッキや、東口「グリーン大通り」の広場化も検討中。
これまで、SDGs未来都市・モデル事業として進めてきた「池袋駅周辺4公園を核にしたまちづくり」をさらに発展させ、東西のシンボルストリートである「グリーン大通り」「アゼリア通り・乱歩通り」を軸としたウォーカブルなまちを目指します。
駅周りのみならず、よりまち全体にエネルギーが広がる新たな未来を作り上げていくことでしょう。



4つの公園とシンボルストリートを軸に賑わいを創出



完成予定は区制100周年を迎える2032年。
この10年で大きな変化を遂げた街、豊島区・池袋。この先の10年においても、日本で最もおもしろい都市を目指した第2ステップのまちづくりが加速していきます。

—— 関連するSDGs ——





2022.03.08

豊島区では、「オールとしま」でSDGsを推進していくために、年3回「としまSDGsウィーク」を独自に設定しています。

3回目となる今回も、区内各所で様々なイベントを実施。これから始まるSDGsを軸とした区制90周年事業に向けて、SDGsを区全体にさらに根付かせていきます。

植樹や樹木の手入れ・樹木とふれあうイベント等を行い、生物多様性を理解するきっかけとする活動「としまグリーンウェイブ」が3月1日からスタートしているほか、東京アニメアワードフェスティバルや、池袋西口としま商人まつり、オンラインでの障害者美術展などさまざま。詳細は以下のリンク先よりご覧ください。

この機会にSDGsに触れ、ぜひ一緒にアクションを一步踏み出してみましょう！

【主なイベント】

3/1～ [としまグリーンウェイブ](#)

3/11-14 [東京アニメアワードフェスティバル2022](#)

3/19-21 [acosta! @池袋サンシャインシティ](#)

3/20-21 [池袋西口としま商人まつり](#)

3/23,28 [Tokyo Music Evening Yube](#)

3/25(予定)～[第15回豊島区障害者美術展「ときめき想造展」](#)

※イベント開催に関する最新情報は、各ホームページをご確認ください。

—— 関連するSDGs ——



SDGs未来都市 豊島区



豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



2022.05.31

4月29日～5月1日に万博記念公園で開催された「Warai Mirai Fes 2022～Road to EXPO 2025～」(共催:チーム関西／吉本興業株式会社)。本イベントに、「チームとしま」として、区民と企業がブース出展し、豊島区のSDGsの取り組みを紹介しました。

「Warai Mirai Fes 2022」は、SDGsの目標達成を旗印に、ゴールデンウィークの3日間、大阪のエネルギーの源である「笑い」「食」を楽しめるほか、音楽ライブなども楽しめるイベントです。

昨年11月には、としまみどりの防災公園(イケ・サンパーク)で「『Warai Mirai Fes ～Road to EXPO 2025～』presents ワークショップ」をチーム関西の協力のもと吉本興業と連携し開催。今回は、2025年に大阪・関西万博が行われ、世界から注目が集まる大阪の地で、国際アート・カルチャー都市として、広くSDGsの取り組みを発信しました。



株式会社サンシャインシティ 小中学生のアイデアをかたちにした「ECOステーション」



リサイクル可能な段ボールでほぼ実寸大で再現した「トキワ荘」 玄関



地球にやさしい池袋のシンボルとして、まちの方々に愛される「IKEBUS」



「チームとしま」ブースでは、「笑顔がMIRAIをつくる」をキーワードに、SDGsの要素をぎゅっと詰め込んだ豊島区ならではの展示を実施し、約2,000人の方々がブースを訪れました。各ブース担当者はそれぞれ次のように感想を語りました。

◎リサイクル可能な段ボールでほぼ実寸大で再現した「トキワ荘」玄関ブース担当

トキワ荘協働プロジェクト協議会

小出さん「10年前に地域の皆と『一緒にトキワ荘を復元したい』という想いで、段ボールのトキワ荘をつくりだしました」

本間さん「今回こうして大阪で展示できたということは、とても感慨深いです。大阪ではトキワ荘は知っていてもそれが豊島区にあるということは皆さんなかなかご存じなく、関西のみなさんにその点をPRできたのはよかったです」

◎「IKEBUS」ブース担当

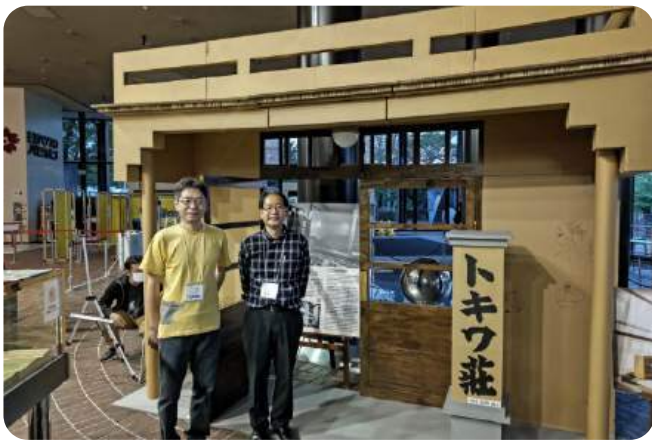
一般社団法人としまアートカルチャーまちづくり協議会 城所さん

「今回は、実際に大阪でイケバスが走れるようなかたちを考えたいです。SDGsの国際見本市である2025年の万博に向けて、SDGs未来都市豊島区として何かできることを、今回を足掛かりとして考えていくことができれば素晴らしいと思います」

◎小中学生のアイデアをかたちにした「ECOステーション」ブース担当

株式会社サンシャインシティ 倉林さん

「まちの動きに合わせて、サンシャインシティでもSDGsの取り組みをさまざまなかたちで進めているところです。今回のことをきっかけに、ますます豊島区と協力しながら一緒にまちづくりに携わっていきたいです」



トキワ荘協働プロジェクト協議会 小出さん・本間さん



一般社団法人としまアートカルチャーまちづくり協議会 城所さん

豊島区は、今後も、SDGsを通して、区民、企業・団体、行政が一体となって持続発展する「国際アート・カルチャー都市」を目指し、大阪・関西万博の2025年、さらにはSDGs目標年の2030年、区制施行100周年の2032年へと、次代に向けたまちづくりに取り組んでいきます。

—— 関連するSDGs ——





「オールとしま」でつくる
九〇周年が本格始動！ 第二回区制九〇周年
実行委員会を開催しました

2022.06.01

「区制90周年をオールとしまで盛り上げたい」という思いのもと、区民と企業が発起人として立ち上げた、90周年実行委員会。5月9日、区制施行90周年実行委員会のメンバーが集い、第2回となる区制90周年実行委員会を開催しました。

58部会（※）で構成される区民実行委員会。今回は、「ウイロード清掃ボランティア」、「としま案内人」、「高齢者クラブ連合会60周年記念事業」、「大明まつり」、「池袋モンパルナス回遊美術館」、「SDGs未来都市プロジェクト」の6部会が、それぞれの活動内容や抱負を熱く語りました。



「ウイロード清掃ボランティア」幹事 石森 さん



「としま案内人」幹事 小池 さん



「高齢者クラブ連合会60周年記念事業」幹事（代理） 竹野 さん



「大明まつり」幹事 杉本氏／荘司 さん



「池袋モンパルナス回遊美術館」幹事 小林 さん

「ウイロード清掃ボランティア」部会幹事の石森宏さんは、
「全長77メートルあるウイロードの清掃活動は重労働ではありますが、だからこそその爽快感もひとしおです。活動をスタートしてから一度たりとも休んだことがないのは、私たちの誇り。としまの大学の学生や地域の人たちとつながれるおもしろい活動です」とその活動の魅力を語りました。

また「大明まつり」について発表した荘司哲夫さんは、10月29日、30日に行われる大明まつりについて
「11月1日の『文化の日』直前に行われるイベントとして、90周年の起爆剤にしたいですね。新感覚スポーツ体験やアート体験をはじめ、多文化かつ地元グルメなど、さまざまな企画を考えています。『区民参加型』を意識して、みんなで豊島区90周年をお祝いしたいです」と意気込みます。

区制90周年に向けたオープニングイベントとなった今回。
豊島区では当サイトを中心に「90周年×SDGs」について情報発信し、としま愛あふれる「人」の想いや活動を紹介していきます。

※2022.05.09時点

—— 関連するSDGs ——





企業実行委員会を開催

第一回 豊島区制施行90周年

「オール企業としま」の輪

まちの賑わいを支える

2022.07.26

豊島区の発展は一緒に歩んできた区民の方々とともに、まちの賑わいを支える企業の皆様の協力のうえに成り立ってきました。90周年では、さらに「オール企業としま」の輪を強固にし、まちと経済の発展を目指しています。

6月21日には、第1回豊島区制施行90周年企業実行委員会が会場・オンラインにて開催され、今後の豊島区とともに盛り上げていく企業関係者120名近くが参加しました。

開会の辞を飾ったのは、区制施行90周年実行委員長である渡邊裕之氏。

渡邊「『SDGs 未来都市』の豊島区として、次なる100周年に向けて企業実行委員会が果たすべき役割とは何か。皆さんと一緒にフレッシュな気持ちで、より魅力ある街づくりに取り組みたいと考えています」



実行委員長 渡邊裕之さん



企業実行委員会 幹事長 合場直人さん



企業実行委員会事務局メンバー

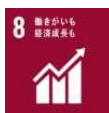
本委員会では企業実行委員会の幹事長に株式会社サンシャインシティ代表取締役社長の合場直人氏が選任されました(90周年実行委員会・副実行委員長兼務)。これからの取り組みについて、熱い想いを語ります。

合場「企業の成長のためには、まちの賑わいは不可欠。豊島区の発展をそれぞれが自分ごととして捉え、公・民、そして民・民が連携し、1つのチームとなってまちづくりに取り組んでいきましょう」

今後は、SDGsセミナーやアート・カルチャーセッションなどさまざまなセミナーや交流の場を用意し、企業同士のつながりをさらに深めていく予定です。

豊島区は今後も「オール企業としま」の輪を広げ、一人でも多くのステークホルダーが笑顔となれるまちを目指して、チーム一丸となって魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。

—— 関連するSDGs ——





まちの企業から子どもたちへ
「学び場」のプレゼント。
「としまで学ぶ夏の1日」

2022.08.11

新型コロナウイルス感染症の影響により、近隣で過ごす方も多かった近年の夏休み。

豊島区制施行90周年を記念して、豊島区に縁のある各企業・団体が将来を担う子どもたちに向け、「夏休みの学びの場を提供したい」、「子どもたちに『夏休みならではの』の思い出を作してほしい」との思いから、8月11日、自由学園明日館にて「としまで学ぶ夏の1日」が開催されました。

当日は豊島区とつながりのある企業・団体が9つのブースを出展。SDGsや防災、お仕事体験などをテーマに「はたらく乗り物に乗ってみよう!」「デパートのお仕事を知ろう!体験しよう!」といった企画や、バナナペーパーでのハンガー作りなど、ブース毎に工夫はさまざま。歴史的な建築物を舞台に、子どもたちは普段とは一味違う体験学習を楽しみました。



子どもたちが描く「20年後のとしまのまち」としまのまちの地図に
乗り切らず、棚にも並べて展示。



「こども記者体験」のワンシーン



サンシャインシティによる防災備蓄品で作られた迷路コーナー



なかでも「東京新聞」のブースでは、こども記者体験のほか、子どもが自由に描けるお絵描きコーナーを設置。用紙には新聞の印刷時に出る廃紙を使用し、環境保全に配慮しています。さらに人気を集めたのが「20年後のとしまのまち」を描くお絵描き企画。200組以上の親子が参加し、壁一面に子どもたちが夢見るとしまの姿が広がりました。

同ブース担当の山中裕子さんは、「まだまだ先の20年後のまちの理想の姿を、子どもたちがすらすら描けることにびっくりしました。どれもポジティブなもののばかりで、嬉しくなりますね」と笑顔で語ります。

豊島区役所もブースを出展。中身が見えるごみ収集車を設置し、ごみの積み込み体験ができるブースのほか、各ご家庭で実践している取り組みを書いてもらう「私のSDGs」コーナーを用意しました。

また、イベント会場では「ごみ収集車のボタンを押したのが楽しかった!」「迷路を抜けると、ホイッスルがもらえた!」など、楽しい1日を過ごした子どもたちの元気な声が聞こえてきました。

民間企業をはじめとする多くの団体のご協力のもと、実現した今回の企画。
これからもとしまのまち一体で、さまざまな「まなび」の機会を提供していきます。

— 関連するSDGs —





子どもたちとともに育つ森
「いのちの森」記念植樹2022

2022.09.06

9月6日、池袋第一小学校にて「いのちの森」記念植樹2022が行われました。「森の中の学校」をコンセプトに生まれ変わった池袋第一小学校の落成記念として実施。まちの一角に新たな森が生まれます。

地域の方々とともに豊島区を緑いっぱいにしていきたいという想いから始まった「グリーンとしま」再生プロジェクトでは、これまでに13万6千本にも及ぶ植樹活動を行ってきました。当日は実行委員長の石森 宏氏をはじめ、プロジェクトに携わる関係者の方々が列席。

植樹を行う6年生の36名に向けて、石森氏からは「緑は人の心を癒してくれます。10年後を楽しみに、未来に向けて愛する人のために、家族のために、『希望』の樹を植えていきましょう」とご挨拶がありました。

豊島区長も応援に駆けつけ「日本一の学校をつくるんだという思いを込めて池袋第一小学校の改築を行いました。ここに通う皆さんがこれから植える苗木とともに立派に成長していくことを、心から願っています」と激励を送りました。



『「いのちの森」記念植樹2022』部会 石森氏



植樹方法の方法を進和学園より説明



植樹方法の説明が行われた後、児童たちは植樹場所である「学校の森」へ移動。「グリーンとしま」再生プロジェクトの方々の丁寧なサポートのもと、1本1本、苗木を植えていきました。中には、友達と協力して植樹する児童や苗木にあだ名をつける児童の姿も。「大人になってまたここに戻ってきたとき、自分たちが植えた苗木の育った姿を見るのが楽しみです」と児童達は笑顔で語り、植樹に取り組みました。

今後も記念事業「いのちの森」記念植樹2022では、みらい館大明・南長崎スポーツ公園で植樹を実施予定。
持続可能な社会の実現に向けて、豊島区では今後も緑を、「希望」を植え続けていきます。

—— 関連するSDGs ——





2022.09.08

民間企業を巻き込んだ「オール企業としま」の体制で、節目の年を盛り上げる豊島区。6月から本格始動している企業実行委員会には250社を超える企業が参画しています。
企業実行委員会における取り組みの柱の1つが「SDGsを知る」。
その一環として、企業実行委員会企画事業「企業のためのSDGs推進支援セミナー」を東京海上日動火災保険株式会社主催のもと開催しました。

全3回のシリーズ開催でSDGsへの理解を深めるこの企画は、「第一回：SDGsの基礎知識/SDGsの事例紹介」、「第二回：SDGs診断書の作成」、「第三回：SDGs診断結果の発表」の3ステップで構成されています。

8月24日・29日・30日の3日間※にかけて行われた第一回セミナーは、各日程30名以上が参加。会場は、企業実行委員会に参画する企業の施設や店舗で開催され、東京海上日動火災保険株式会社の中塚 啓二郎氏による講義形式で行われました。

提供会場

- ・エイトデイズダイニング(大塚)
- ・重要文化財 自由学園明日館(西池袋)
- ・サンシャインシティ ソラリウム(東池袋)



渡邊実行委員長「10年後、100周年を迎えるうえで、意義あるセミナーとなります」



8月24日はエイトデイズダイニングで開催



白井副幹事長「食の分野でも消費期限の見直しなど、食品ロス削減に向けた動きが進んでいます」



8月29日は自由学園明日館にてセミナーを開催



合場幹事長「企業、個人がSDGsを深く理解し、行動に移すのが豊島区のまちづくりにとっても重要」



南山副幹事長「SDGsは継続性が大事なので、自分たちに何ができるのか学んでいきたい」



8月30日はサンシャインシティ ソラリウムで開催

そもそもSDGsとはどのようなものなのか、という解説から始まった当セミナー。生活保護受給者の数やカロリー自給率、人口減少など、日本が対峙する社会課題にも触れられ、SDGsを各企業・個人が取り組んでいくことの重要性を強調する講義となりました。講義後半ではさまざまな企業の取り組み事例を紹介。経営面でもSDGsの必要性が説かれる現代において、企業単体だけでなく、まち全体で、身近なところから取り組みを進めていくことが重要となることでしょ。

次回は10月に第2回となるセミナーを開催予定。チェックシートを活用して各社のSDGsを見直す機会を設けます。最終回となる第3回では、各社の今後のアクションを明示する「SDGs行動宣言書」を作成する予定です。

SDGsの実践を通じて、としまのまちと企業が互いに高め合いながら成長していく、持続可能な未来を目指します。

※3日間同内容

—— 関連するSDGs ——





自社の取り組みを「分析」。
第二回「企業のための
SDGs推進支援セミナー」

2022.10.13

豊島区では、としまのまちづくりに参画いただく企業の皆さまと「オール企業としま」のスタンスでさまざまな取り組みを推進しています。約280社の企業で構成される「企業実行委員会」では、活動の柱の1つに「SDGsを知る」を掲げ、東京海上日動火災保険株式会社主催のもと全3回の「企業のためのSDGs推進支援セミナー」を開催しています。

基礎から段階を踏みながら、実践を交えてSDGsへの理解を深めます。9月26日・28日・29日の3日間にかけて行われた第2回セミナーは、第1回セミナーと同様に、企業実行委員会に参画する企業の施設や店舗で開催されました。

【提供会場】

- ・リビエラ東京(西池袋)
- ・RYOZANPARKLOUNGE(巣鴨)
- ・マテックス株式会社(gather)(上池袋)



28日のセミナー会場を提供いただいたマテックス株式会社：松本 浩志社長



各企業のSDGs推進度をチェックするべく、計40項目の設問から構成される「SDGs推進度チェックシート」に回答していく企業の皆さま。講師による説明を受け、真剣な表情で取り組まれていました。

チェックシートへの回答結果から導き出される診断レポートでは、各社の取り組みにおける強みと課題を洗い出し、現状の把握に活用。各社の経営理念や事業内容を踏まえて各ゴールの優先順位づけを行い、SDGsを基準にどのように社会に貢献していくことができるのか、その整理を後押しするセミナーとなりました。

第3回となるセミナーは10月下旬に開催予定。今回作成したチェックシートを基に各社のSDGsへの取り組みを見つめ直し、今後のアクションの指標となる「SDGs行動宣言書」を作成します。

企業も含めてまち全体でSDGsへの取り組みを見つめ直すこの機会は、持続可能な社会の実現において有意義なものとなることでしょう。

—— 関連するSDGs ——





2022.10.24

10月6日、としま区民センターにて、区制90周年を迎える豊島区のまちづくりに関わる企業が集う、第3回豊島区制施行90周年企業実行委員会が開催されました。

実行委員会の開催にあたり、渡邊実行委員長、高野区長、合場幹事長、久保田副幹事長からのご挨拶がありました。



渡邊実行委員長「280社近くの企業に参画いただいている現状。100周年に向けて、さらなるご協力をお願いします」



豊島区長「“活気”こそ文化。文化と経済の好循環を」



合場幹事長「Webサイト上での、企業・イベント情報の発信も強化しています」



久保田副幹事長「『まちに開かれた百貨店』として、活動の場を提供していきます」



近藤元文化庁長官



企業実行委員会の後半には、第2回に引き続き委員会メンバーとしてまちづくりに深く関わる企業・団体によるプレゼンテーションが行われました。

各企業の想いがあふれるさまざまな取り組みは、これからのとしまの発展に欠かせないもの。11月1日の「としま文化の日」に向けて、区制90周年はさらなる盛り上がりを見せています。

企業実行委員会の最後には、当日会場にも出席された豊島区芸術顧問である元文化庁長官の近藤誠一氏からコメントが寄せられました。

近藤「日本が現在必要とされている“熱気”、そして縦割りに留まらない行政と民間のつながりがとしまにはあります。文化と経済は水と油のように、かき混ぜ続けなければ混ざらないもの。高野区長のリーダーシップのもと、素晴らしい自治体のモデルケースとなることを、これからも期待しています」

— 第3回企業実行委員会プレゼン企業・団体様一覧 —

- ① 川村学園「産学連携・ブルーベリープロジェクト」
- ② 山口不動産株式会社「＃CleanUpOtsuka」
- ③ 株式会社西武ホールディングス「豊島区制90周年記念 西武線1日おでかけきっぷ」
- ④ 西武造園株式会社「環境教育プログラム」
- ⑤ 株式会社nest「IKEBUKURO LIVING LOOP」
- ⑥ 東京建物株式会社「池袋エリアプラットフォーム」
- ⑦ 株式会社エリース東京「エリース東京FCのご紹介」
- ⑧ 調べる学習コンクールinとしま実行委員会「調べる学習コンクール」
- ⑨ 池袋GLOBAL RING音楽祭実行委員会「池袋GLOBAL RING音楽祭」
- ⑩ としまものづくりメッセ実行委員会「としまMONOづくりメッセ」
- ⑪ ジャパンコンシェルジュ「映画『シェアの法則』」
- ⑫ 株式会社デサント「豊島区での取り組み」
- ⑬ 目白ロードレース実行委員会「目白ロードレース」
- ⑭ 株式会社久世「事業のご紹介」

—— 関連するSDGs ——



SDGs未来都市 豊島区



豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



2022.11.01

「としま文化の日」である11月1日。豊島区制施行90周年記念式典が開催されました。

区政の発展に貢献いただいた、およそ1500名の方々とともに90周年を祝う本式典。旧庁舎跡地にある豊島区立芸術文化劇場（東京建物Brillia HALL）を会場に、第一部は小林研一郎氏が率いる「コパケンとその仲間たちオーケストラ」による華々しいコンサートで開幕しました。ベートーヴェン「交響曲第5番 運命」をはじめとした4曲が披露され、多様な音色が響きながらも一体感のある演奏は、としまのまちの姿に通ずるものがありました。

第二部の90周年記念式典では、高野区長、木下豊島区議会議長、そして豊島区制施行90周年実行委員長の渡邊氏による挨拶が行われました。

高野区長「『オールとしま』の体制でさまざまな施策を展開し、豊島区のまちづくりを行ってきました。70周年を機に進めてきた文化政策。今後も文化と経済の好循環を生み出し、豊島区のすべての人々が希望を持てるまちの実現に向けて活動を続けてまいります」

木下議長「区民の皆様によって、地域は支えられています。安心できるまち、希望に満ちたふるさと『としま』を目指し、私たち区議会議員は自負を持って課題解決に尽力していきます」

渡邊実行委員長「90周年を迎え数多くの取り組みを進めるにあたり、多くの方々から多大なご協力をいただいております。SDGs未来都市としてこれからも持続可能なまちづくりを行い、としまのまちをより良くしていきます」



人間国宝である野村萬氏、元文化庁長官の近藤誠一氏をはじめ多くの方からあたたかいお祝いの言葉もいただきました。またその後には、豊島区功労者表彰、セーフコミュニティ国際認証式、豊島区文化栄誉賞表彰が行われ、都倉俊一文化庁長官による基調講演で締めくくられました。

90周年、そして次なる100周年へ。としまのすべての人々に笑顔があふれるまちを目指して、区民、企業、行政がより一体となり、これからも歩みを進めていきます。

—— 関連するSDGs ——



SDGs未来都市 豊島区



豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



2022.11.07

豊島区にかかわる企業向けに開催された「企業のためのSDGs推進支援セミナー」。第3回では、SDGsの未来を考え、そして具体的なビジネスに繋げることを目的として開催されました。講師からは、「社会のルールチェンジとも捉えられるSDGsを前にして、企業はいま何をすべきか。それは、SDGsを自分事として捉え、経営に練り込み、そして発信することです。行政はそのためのプラットフォームを整えています。その機会を逃がさず、自分たちの事業とSDGsを絡めることができれば、多大な相乗効果を発揮することができるでしょう」等のお話がありました。

【提供会場】

- ・株式会社デサント（目白）
- ・法明寺 すすきみずく会館（南池袋）
- ・ガモール志學亭（巣鴨）



株式会社デサント（27日）地下ホールにて



今後は、全3回シリーズとなった本セミナーを通じて、各企業が回答した「SDGs推進度チェックシート」を基に「SDGs行動宣言書」を作成していきます。SDGsへの取り組みを可視化する「SDGs行動宣言書」は、各社がさらなる持続可能な未来に貢献していくうえで、1つの指針となることでしょう。

「オール企業としま」としての「横のつながり」を生み出すことを、1つの目的に取り組んできたこれまでのセミナー。これをきっかけに生まれたつながりを育みながら、「としまのまちづくりに参画することは、1つのSDGsのかたちである」と感じていただけるよう、引き続き取り組んでまいります。

—— 関連するSDGs ——





を開催しました

豊島区教育委員会

としまの未来を担う

子どもたちとともに。

「SDGsフェスティバル」

2022.11.25

豊島区ではSDGs達成に向けて様々な取組を進めており、その一つとして、教育委員会では「SDGs達成の担い手育成事業」に取り組んでいます。「SDGs達成の担い手事業」では、区立小・中学校全30校が、保護者、地域、企業、大学など様々な方と協働で、SDGsの取組を進めています。

取組を広く発信し、オール豊島で「自分ごと化」の意識醸成を図れるように、令和4年11月9日に「SDGsフェスティバル」を開催しました。豊島区立芸術文化劇場（東京建物 Brillia HALL）で行われ、総勢100名を超える子どもたちや地域の方々がステージに立ちました。



朋有小学校「朋有太鼓」



池袋第一小学校「森の中の学校ネットワーククラブ」



千登世橋中学校＋千川中学校「D級ポンプ消防隊」



パネル展の様子

当日は千登世橋中学校・千川中学校の生徒の司会のもと、区立小学校5校、中学校2校が取組を発信しました。

朋有小学校による10年以上続く伝統ある「朋有太鼓」の演奏や、高松小学校の町会の方とまちのよさを伝える「ふるさと高松」の発信、目白小学校や豊成小学校による企業との協働の取組の紹介、池袋第一小学校の演劇を交えた新校舎「森の中の学校」の活動の紹介、千登世橋中学校と千川中学校による「防災ジュニアスタッフ」の実演など、各学校の特徴を生かした取組を発信し、SDGs達成に向けて機運を高めました。

最後に学校SDGs推進アドバイザーの阿部治氏と、SDGs未来都市推進アドバイザーの一木広治氏より、メッセージが送られました。

阿部「全ての人たちをつなぐ共通言語であるというSDGsの特徴をいかに発揮していた。何が地域、世界の課題か、どう社会と関わり仕組みを変えていくのか、そういう視点を持った大人に成長してくれることを期待しています」

一木「SDGsの活動は“ローカル”の活動の積み重ねが“グローバル”になります。豊島区のお子さんから、世界のリーダーが出てほしいですね」

また、区制施行90周年シンボル事業とのコラボレーション企画として、パネル展を同時開催しました。西池袋中学校の「”服”のチカラプロジェクト」、区取組「オレンジリボン運動」、「こども未来国連会議」について紹介しました。

大人たちの力を借りながら、世界の問題を「自分ごと」化し、自ら考えてアクションを起こす豊島の子どもたち。「SDGsフェスティバル」の取組発信は、子どもも大人も手を取りあって、一人ひとりがSDGs達成の担い手として、「誰一人取り残さない」豊島区の未来をみんなで考え、行動に移していくきっかけとなりました。

—— 関連するSDGs ——





ダイバーシティセミナーを開催しました

としまを目指して。

一人ひとりの個性が輝くまち。

2022.12.06

SDGs未来都市として、誰ひとり取り残さないまちを目指し、取り組みを推進する豊島区。区制90周年を記念し、11月20日（日）と25日（金）の2回にわたってダイバーシティセミナー「ダイバーシティが世界を変える～思い込みから抜け出そう～」が開催されました。両日とも講演会とパネルディスカッションの2部制で実施し、参加者の皆さんとともに考えを深めました。

20日には弁護士の太田啓子さんをお招きし、「性別の思い込みから自由になろう!」をテーマに開催。子どもころから無意識のうちに根付いてしまう思い込み「アンコンシャスバイアス」について問題提起がありました。

講演の後、立教大学ジェンダーフォーラム所長片上平二郎さんのコーディネートのもと、株式会社良品計画の小林幸枝さん、区内大学院生のうりぼーさんを交え、実施されたパネルディスカッション。企業人、学生の立場の貴重な意見を織り交ぜながら、性別に対して思うこと・多様性を認め合う社会に必要なこと・誰もが生きやすい社会のために必要なことの3点について白熱した議論が繰り広げられました。



25日には豊島区の「ダイバーシティ&インクルージョン」について「子どもたちが10年後も住み続けたいと思えるまちづくり」をテーマに、講演とパネルディスカッションが行われました。講演では、講師の公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパンの長島美紀さんから、「ダイバーシティ」にとどまらず、その個人の力を最大限に活かした社会や組織が運営される「インクルージョン」の重要性が語られました。

講演後のパネルディスカッションでは、長島さんに加え、区内在住でNPO法人こそだてビレッジのExecutive Directorであるレイチェル・ファーガソンさん、株式会社そごう・西武 執行役員人事部長の手塚徹さんをパネラーにお招きし、区内在住のフリーアナウンサー茅原すみさんの司会のもと、複数の観点から意見交換が行われました。



両日とも多くの方々にご参加いただき、皆でとしまの未来を考えるきっかけとなりました。一人ひとりの個性が輝き、高め合うまちを目指して、としまはこれからも多様性を実現するための取り組みを続けていきます。

—— 関連するSDGs ——





2022.12.21



STUDIO201による「Kids=Artists ~全てのキッズはアーティスト~」 全4回で完成した作品がWACCA池袋にて展示されました。

南池袋公園やグリーン大通りを中心に展開されるIkebukuro Living Loopで豊島区制90周年を記念して、実施されていた、STUDIO201による「Kids=Artists ~全てのキッズはアーティスト~」の全4回で子どもとプロのアーティストによって完成した16作品が池袋駅東口にあるWACCA池袋にて展示されました。

Kids=Artistsとは？

「子ども」×「アート」×「まち」をキーワードに、子どもが本来持つ感性や可能性を引き伸ばす子ども向けの教育プログラム。個性豊かな4名のアーティストとそれぞれに用意した大きなキャンバス。最初は子どもたちに自由にキャンバスの上に描いてもらい、アーティストがライブペイントパフォーマンスで作品を完成させます。



全16作品が一堂に会するのは、これが初めてであり、本企画を主宰した宮副信也さんは、「たくさんのお子さんが参加してくれて完成した作品が、さまざまな場所で人の目に触れることができていることが何よりもうれしい。これからも豊島区が賑わいのある、笑顔いっぱいのまちになっていくことに微力ながら尽力していきたい。」と熱い想いを語っていただきました。

今後作品は、WACCA池袋だけでなく、池袋PARCOなどにも展示されていきます。

- ・WACCA池袋 ～2022年12月19日(月)まで
- ・池袋PARCO ～2022年12月26日(月)まで ※営業時間は各商業施設のHPをご確認ください。

このあと、展示販売会も予定されているようです。
スケジュールや会場については、決まり次第こちらのHPにてお知らせをしていきますのでお楽しみに！

◆としまSDGsアクション 宮副 信也さんインタビュー
「子どもたちの自由な発想をアートの力で発信したい」

[https://www.toshima-sdgs.jp/about/index.php?
c=about_view&pk=1664275180](https://www.toshima-sdgs.jp/about/index.php?c=about_view&pk=1664275180)

◆Kids=Artists ~全てのキッズはアーティスト~HP

<https://kids-artist.jp/>



— 関連するSDGs —





1年の締めくくり。
100周年に向け想いをひとつに。
第4回 豊島区制施行90周年
企業実行委員会を開催しました

2022.12.26

12月13日、サンシャインシティ文化会館の特別ホールにて、第4回豊島区制施行90周年企業実行委員会が開催されました。今回の委員会がたくさんの記念式典・イベントがあった2022年の締めくくりとなりました。



渡邊実行委員長「企業からの声は豊島区にとって非常に重要」



高野区長「稼げるまちとして、魅力あるまちづくりを目指しましょう」



合場幹事長「豊島区ならではの強みは気持ちをひとつにできるところ」



立教大学 郭ゼミナールからの発表

としまのまちに携わる13社の企業・団体の発表では、「2分間の発表時間を厳守することがSDGsにつながるはず」という山口不動産の提案に沿い、スムーズな進行となりました。さらに今回は立教大学の郭ゼミナールから学生様にご登壇いただいたほか、豊島区のオーディションで誕生した新たな声優ガールズユニット「IBERIs&」によるプレゼンテーションなど、フレッシュな発表が展開されました。90周年から次の100周年に向けた、新たな風が吹き始めています。

渡邊実行委員長からの講評ののち、豊島区制90周年事業を振り返るショートムービーが上映され、2022年の活動を振り返りました。

渡邊「各企業それぞれの取り組みが、企業実行委員会を機に結集し、としまを盛り上げるひとつの力となっていくと感じています。90周年、そして100周年を目指して、これからも盛り上げていきましょう」

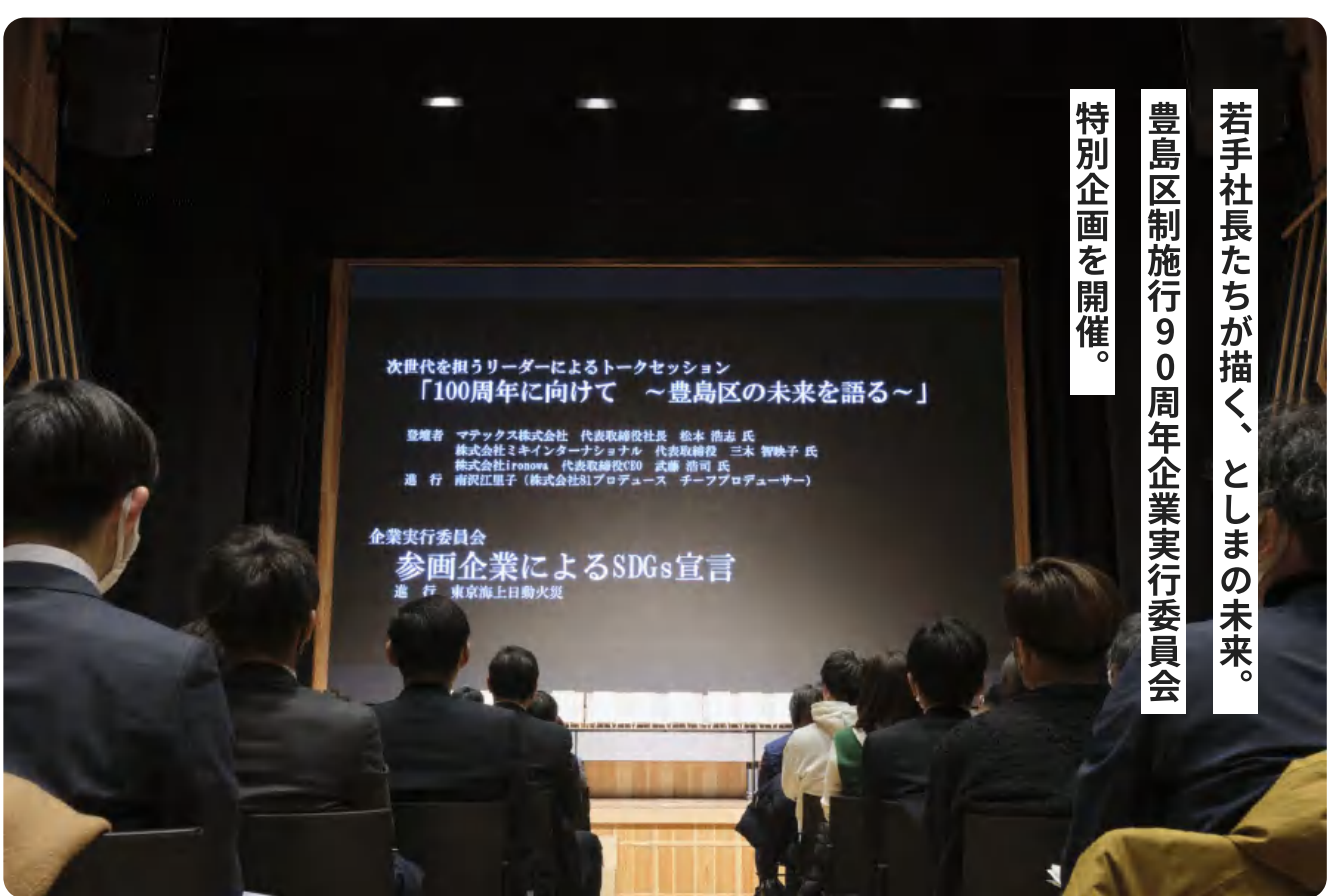
区制90周年を締めくくる年度末の企業実行委員会は、2023年3月に開催される予定です。これからも豊島区は「オール企業としま」を軸に企業間の交流を促進し、新たなビジネスチャンスを生み出す「魅力あるまちづくり」を目指していきます。

— 第4回企業実行委員会プレゼン企業・団体様一覧 —

- ①山口不動産「僕の想うSDGs～としま区制100周年を輝く新時代にするために～」
- ②サンシャインシティプリンスホテル「オリジナル バンブータンブラー企画」
- ③立教大学 郭ゼミナール「エシカルの認知度拡大に向けて」
- ④アインズ「脱プラ紙ファイル他取り組み」
- ⑤パソナ「外国企業とのビジネスマッチング(東京都パートナーシップ支援事業)」
- ⑥Office ENDLESS「サッカー漫画『ブルーロック』舞台化プロジェクト」
- ⑦81プロデュース「豊島区で誕生!声優ガールズユニット『IBERIs&』」
- ⑧映画「ブルーイマジン」制作委員会「オリジナル長編映画『ブルーイマジン』」
- ⑨Meta Anchor「ひきこもりアート・コンテンツフェスタ」
- ⑩養老乃瀧「としま情熱基金」
- ⑪エクストリーム「池袋デジタル寺子屋」
- ⑫ハクビ京都きもの学院「民間外交として文化プログラムを担う」
- ⑬マテックス「サードプレイス『HIRAKU IKEBUKURO』」

— 関連するSDGs —





特別企画を開催。

豊島区制施行90周年企業実行委員会

若手社長たちが描く、としまの未来。

2023.01.25

1月25日、としま区民センターで開催された、企業実行委員会特別企画。としまのまちづくりに関わる企業から150名もの参加者が集い、盛況の中で各種企画が行われました。

前半は、「100周年まで待ってられない! 私たちが描く未来」というテーマで次代を担うリーダーによるトークセッションを実施。マテックス株式会社の代表取締役社長・松本浩志氏が「パーパス経営」、株式会社ミキインターナショナルの代表取締役・三木智映子氏が「食と景観」、株式会社ironowaの代表取締役CEO・武藤浩司氏が「としまの色」について語り、地域の未来を創る取り組みを構想しました。そして、「としまには『変わる力』がある」と触れ、「これから進むべき方向性を見出していきたい」と抱負を語りました。なお、それぞれの提案内容は、絵や図解で表現するグラフィックレコーディングによって記録されました。



マテックス株式会社松本浩志氏「『HIRAKU IKEVBUKURO』プロジェクトをはじめ、地域に根付いた活動を展開」



株式会社ミキインターナショナル: 三木智映子氏「海外の街などを参考に、『わざわざ行きたくなる街』を目指したい」



株式会社ironowa: 武藤浩司氏「としまの色は『艶(豊島+色)』。より艶ある街をつくっていきたい」



株式会社ironowa: 武藤浩司氏「としまの色は『艶(豊島+色)』。より艶ある街をつくっていきたい」



後半には、豊島区と連携して「企業のためのSDGs推進支援セミナー」を主催した東京海上日動火災保険株式会社が、これまでのセミナーの総括を報告。セミナーに参加してSDGs行動宣言書を作成した全47社のうち、株式会社久世、株式会社デサント、マテックス株式会社、株式会社ironowaの4社が代表して自社の理念や活動、今後の展望について宣言しました。

全3回にわたって実施されたセミナーを振り返り、渡邊実行委員長は「SDGsセミナーを通して生まれた企業のつながりに大きな価値がある」と講評。齊藤副区長は、「としまを変えたいと願う人々が集えば、きっと理想のまちが実現できる」と大きな期待を込め、会を締めくくりました。90周年に形成された連携の輪は、未来のとしまを切り開く鍵となることでしょう。

—SDGs行動宣言企業・団体様一覧—

- ① 株式会社久世
- ② 株式会社デサント
- ③ マテックス株式会社
- ④ 株式会社ironowa

— 関連するSDGs —





「第3回 全国市区・SDGs先進度調査」で
豊島区が総合9位に選ばれました

2023.01.30

このたび日本経済新聞の「第3回 全国市区SDGs先進度調査」において、豊島区は全国で総合9位の評価をいただきました。今回の結果は、前回調査の18位から大幅にランクを上げての大躍進です。

本調査は、全国815市区を対象に、「経済」「社会」「環境」の3分野でのSDGs達成に向けた取り組み状況を審査したものです。

分野別では、「ダイバーシティ推進」「QOL（クオリティオブライフ）の向上」などを反映する社会分野で、9位と高評価。国際アートカルチャー都市構想、地方との連携、待機児童対策、女性と子どもに優しいまちづくりなど、多方面にわたるきめ細やかな施策が、高く評価されました。

また、豊島区は2020年に国からSDGs未来都市に選定され、「としまSDGs都市宣言」を制定。2022年には脱炭素を目指した「2050としまゼロカーボン戦略」も策定し、地域の人とともにSDGsを積極的に推進しています。イケ・サンパークで毎週末開催しているファーマーズマーケットも、職員間の意識を高めています。

環境分野では、街路灯等のLED化により、2021年度の使用電力量が2015年度の半分に抑えられた省エネ対策が、高い評価につながりました。

SDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会は、豊島区が掲げる「まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市」、そのものです。

豊島区制100周年に向けて、区民の皆様と企業の皆様と一緒に取り組むさまざまなアクションとともに豊島区は、さらなるSDGs先進都市へと躍進していきます。

【第3回 全国市区・SDGs先進度調 総合ランキング】1～10位 ※ ()は前回順位

- 1 (1) さいたま市 (埼玉県)
- 2 (5) 豊田市 (愛知県)
- 3 (6) 福岡市 (福岡県)
- 4 (2) 京都市 (京都府)
- 5 (8) 相模原市 (神奈川県)
- 5 (4) 北九州市 (福岡県)
- 7 (49) 大阪市 (大阪府)
- 8 (9) 板橋区 (東京都)

9 (18) 豊島区 (東京都)

- 10 (11) 神戸市 (兵庫県)

SDGs先進度ランキング

	2021年	2023年
総合	18位	9位
経済	29位	9位
社会	1位	9位
環境	175位	27位

関連するSDGs

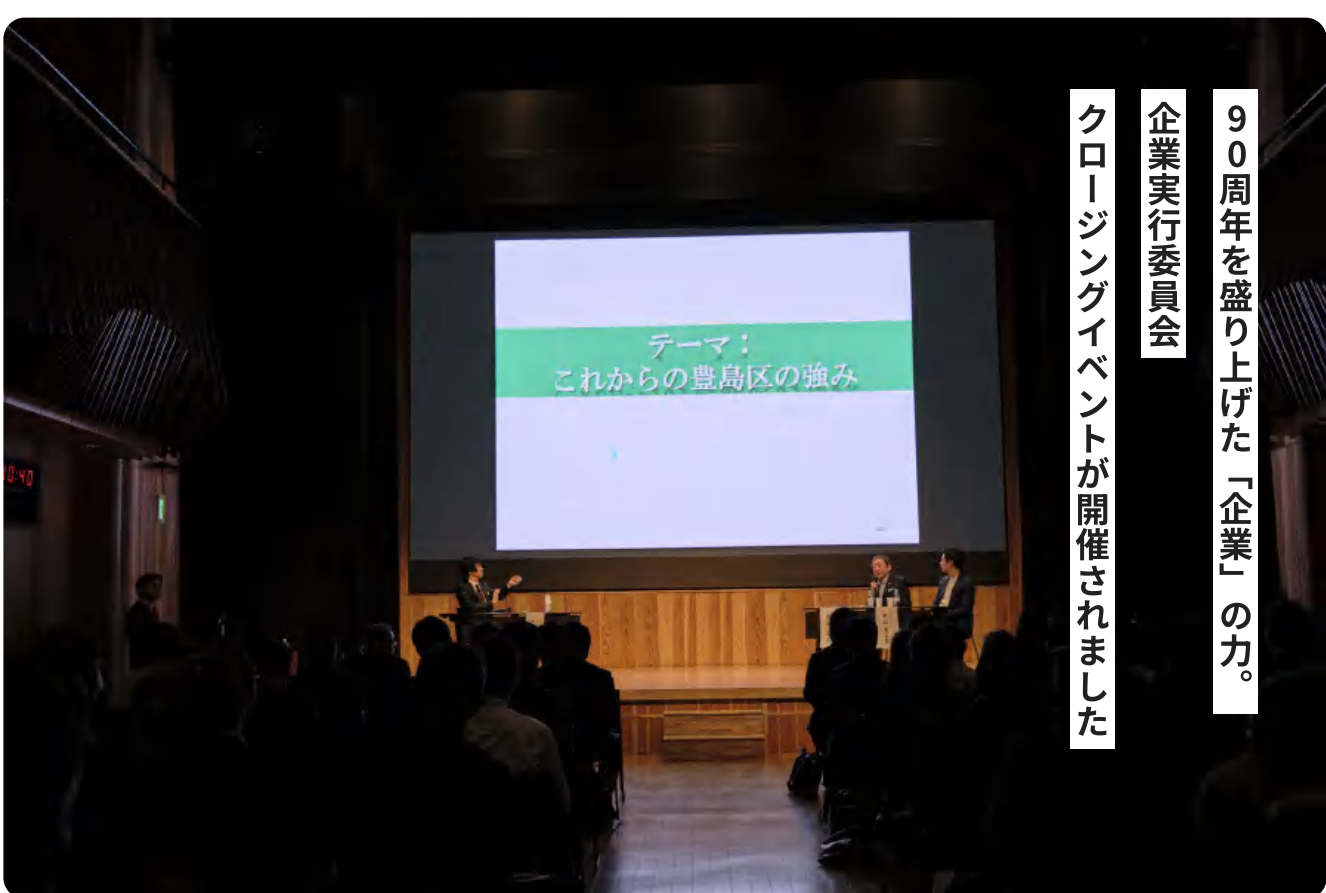


SDGs未来都市 豊島区



豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

90周年を盛り上げた「企業」の力。
企業実行委員会
クロージングイベントが開催されました



2023.03.24

3月24日、企業実行委員会クロージングイベントがとしま区民センターで開催されました。前半では「これからの豊島区が持つ強み」をテーマに特別鼎談を実施。株式会社サンシャインシティの代表取締役社長の合場氏、株式会社マクアケ代表取締役社長の中山氏、一般社団法人アート東京代表理事の來住氏の三人が、豊島区の魅力やこれからの未来について語り合いました。

來住「昨年区長とお話したとき、どんなまちが『素晴らしいまち』なのかと聞くと、『子どもが笑顔になるまちだ』と仰っていました。これからの未来を担う子どもたちが安心して、そして笑顔になるまちづくりが大切だと感じます」

合場「区長は稼げるまちにしよう、という方針を語ってくれていました。そのためには、いかにファンを増やすか。アート・カルチャーを大切に、さらにわくわくできるまちにみんなでしていきたいですね」

中山「豊島区は非常にバラエティーに富んだまちというプラットフォーム。おもしろいコンテンツがある『魅力あるまち』のトップランナーになる可能性を強く実感しています」

後半には10のオール企業としまによる提案と、区制施行90周年実行委員会幹事メンバーからご挨拶がありました。今回で企業実行委員会はクロージングとなりますが、渡邊実行委員長からは「90周年で生まれた繋がりを生かし、かたちを変えてこれからもアクションを続け、よりよいまちづくりを行っていきましょう」と企業同士の連携について、今後の方針が示されました。



この90周年は、区制100周年に向けたスタートライン。
大きな節目に向けて思いを新たに、豊島区は今後も魅力的なまちを、地域の皆さまと共に創りあげていきます。

— 第5回企業実行委員会プレゼン企業・団体様一覧 —

- ①81プロデュース「国際声優コンテスト 声優魂」
- ②サンシャインエンタプライズ「サンシャイン60展望台 てんぼうパーク オープン」
- ③STUDIO201「Kids=Artisits Exhibition —A Look Back on 2022—」
- ④Xcountry「スクールオブアーバンスポーツ」
- ⑤東京新聞「子育てサイト 東京すくすく」
- ⑥エリース東京「豊島区の皆さまに愛されるクラブへ」
- ⑦日テレアックスオン「としま映像時計IKEBUclock サポーター募集」
- ⑧円谷プロダクション「ウルトラヒーローズEXPO サマーフェスティバル」
- ⑨テラコヤ「カフェ塾テラコヤ」
- ⑩むすび「Yume Labo アートで障がい者の自立支援を」

— 関連するSDGs —





「オールとしま」で走り切った
九〇周年を振り返る。
区制施行九〇周年実行委員会
クロージングイベントを開催しました

2023.03.29

3月29日、1年間を通じて豊島区の90周年をともに作りあげてきた区民実行委員会・企業実行委員会のメンバーが一同に会し、区制施行90周年実行委員会クロージングイベントが開催されました。

第1部では、豊島区都市政策顧問を務める建築家の隈研吾氏より「池袋のウォーカブルなまちづくり」をテーマに基調講演が行われました。池袋というまちの可能性や、海外のさまざまなアートカルチャーなまち・建物に関するポイントが語られ、としまのまちづくりにおいて多くの示唆に富んだ講演となりました。

隈「さまざまな環境面での工夫を凝らした区庁舎だけでなく、今後はウォーカブルなまちづくりを目指し、東西をつなぐダンベル構造を生かした再開発を実施していきます。21世紀には、複合機能を有した雑多性あるまちは、より良い意味で捉えられるようになって考えています」



続く第2部の冒頭では90周年事業の記念ムービーを上映。「みんなが主役」をキーワードに、濃密な1年間を振り返りました。その後、渡邊裕之実行委員長、豊島区長職務代理者・齊藤雅人副区長、豊島区議会の木下広議長より、クロージングにあたってのご挨拶がありました。

渡邊「貴重な機会を楽しまねばという想いで、本当にたくさんのイベントに足を運んできました。ここまで企業と区民とが一体となって周年事業を盛り上げることができたのは、誇るべきことです。この経験をレガシーとして継承し、100周年につないでいきましょう」

齊藤「この1年間で、400を超える事業にのべ約400万人の方々に参加してくれました。『一人でみる夢は夢でしかない、皆でみる夢は現実になる』という高野区長の言葉通りとなり、とにかく皆様へ心から“感謝”の一言に尽きます」

木下「ここまで豊島区の街づくりが加速してきたのは、皆様一人ひとりのおかげです。高野区長がのこされた足跡をしっかりと受け継いで、さらに明るい未来への道を切り拓いていきましょう」



渡邊実行委員長



齊藤副区長



木下区議会議長



イベントの最後には、子ども達が10年後の豊島区を語るムービーが流れ「緑がたくさんある街」「元気な子がいっぱい、笑顔あふれる街」「いろんな国の人が暮らせる街」など前向きな声が寄せられました。その後、壇上では劇団ムジカフォンテの子ども達が「SDGsのうた(17目標のおぼえうた)」を合唱し、会場は未来への希望に溢れるクロージングイベントとなりました。

90周年実行委員会としての活動は一度幕を下ろしますが、オールとしまの体制はこの先も続きます。区民と企業のつながりと団結力を強みに、豊島区は早くも次の100周年を見据えて歩み始めます。

—— 関連するSDGs ——





出前授業を開催

持続可能な未来のためのアイデアを考える

身近な「環境」から、

2023.07.18

豊島区SDGs未来都市推進課では、昨年に引き続き実施される「SDGsアイデアコンテスト/国連を支える世界こども未来会議 in TOSHIMA」に向けて、「豊島区出前授業」を行っています。子どもたちのチャレンジをサポートするために、西武造園株式会社のご協力のもと巣鴨小学校で出前授業を行いました。

今回のテーマは「環境」。環境教育プログラム「富良野自然塾東京校」でインストラクターを務める西武造園株式会社の前杉昌枝さんを講師にお招きし、普段よく耳にする「環境」とは何をなのか、その言葉の意味から子どもたちと一緒に考えました。



特に「地球の環境は『空気・水・土・植物・微生物』がもとになって、『ぐるぐる』と循環することでできている」という話に子どもたちは興味津々。

授業後には、もっと話を聞きたいと前杉さんに質問しに行く子どもたちの姿も。

「お話を聞いて、土や植物や微生物までもが環境に関わっているんだと気づきました」
「自分たちが地球の環境を守っていかないといけないと感じました」

前杉「『答え』を押し付けられるのではなく、こどもたちが自分で『気づき』、当事者意識を持つことが大事だと考えています。家や学校など、まずは身の回りで環境のために何ができるのか、考えを巡らせてみてほしいです」

そんな子どもたちの様子を見守る越阪部先生はこう語ります。

越阪部先生「企業の方などにお話しいただく出前講座は普段の授業とは違ったかたちで、子どもたちも楽しみながら学んでいました。これからも環境をはじめ、福祉や人権問題など他の分野についての出前講座もお願いしたいと思っています」



この夏は巣鴨小学校だけでなく、南池袋小学校など希望があった複数の学校で、さまざまな企業・団体の方と協力し、出前授業を開催しました。これからも豊島区では、子どもたちに考えるきっかけを提供できるような取り組みを進めていきます。

そして、今年度の「SDGsアイデアコンテスト」の締め切りは9/25(月)。子どもたちの自由なアイデアをお待ちしています。

令和5年度 SDGsアイデアコンテストに応募して
「国連を支える世界こども未来会議 in TOSHIMA」に参加
しよう

— 関連するSDGs —



SDGs未来都市 豊島区



豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



2023.08.26

活力溢れるとしまの夏の風物詩。第49回になる「東京大塚阿波おどり」が盛大に開催されました。

1972年に地元の商店街の主催で始められたこのお祭りは、コロナ禍前は来場者数が約10万人にもおよび、豊島区の夏を盛り上げてきました。今年は南大塚通りを歩きながら披露する「流し踊り」を3年ぶりに実施。大塚駅南口前広場（TRAMパル大塚）での「組踊り」にも、地元の方々をはじめ多くの観客が集いました。



区役所職員の有志で集まった「区役所連」には高際みゆき区長も参加。数十人もの踊り手を率い、先陣を切って踊りを披露しました。「としまは～踊りよ～」の掛け声とともに、まつりを盛り上げました。

高際区長「あたたかい手拍子に囲まれて、楽しく踊ることができました。これからも豊島を盛り上げていきたいです」



流し踊りが行われる南大塚通りの両サイドでは、多種多様な屋台が出店し、通りにあるお店もお祭り仕様のフード・ドリンクなどを販売。街行く人々はみな、笑顔を浮かべながら踊り手たちに、拍子を送ります。

今回は、地元企業の連も含め総勢11にわたる連が出演し、総勢355名の踊り手が参加。踊り手を引き立てる「鳴り物」の音色が響き渡る中、踊りとカラフルな衣装でまちが彩られました。海外の方も多く訪れており、日本の伝統的な踊りに興味津々の様子でした。

祭りの最後には「乱舞」が行われ、アツい夏の1日が幕を下ろしました。

3年ぶりの大にぎわいとなった、第49回東京大塚阿波おどり。
来年は記念すべき第50回。乞うご期待です。



—— 関連するSDGs ——

